

適応外使用医薬品の使用申請書

責任者 麻酔科 紺崎 友晴

| | | | | |
|---------|---|---|---------|----------------------------------|
| 薬剤 | ケタラール静注用50mg | 規格 | 50mg5mL | <input type="checkbox"/> 院内調剤が必要 |
| 対象 | 処置、検査時において中等度鎮静が必要な患者 | <input type="checkbox"/> 特定の患者のみ ID 氏名 | | |
| 申請理由 | <p>ケタラールの適応は手術、検査および処置時の全身麻酔および吸入麻酔の導入で、中等度鎮静に対しては適応外である。</p> <p>しかし、処置時における中等度鎮静全般に対して、Practice Guidelines for Moderate Procedural Sedation and Analgesia 2018にはケタミンと他の鎮静薬との組み合わせで有用性が示されている。</p> <p>MSDマニュアルにはケタミンは呼吸を抑制したり上気道の緊張または防御反射を減弱させたりする作用はないため、誤嚥のリスクがある患者では第1選択となる可能性がある。と記載されている。</p> <p>麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドラインには検査・処置時の鎮痛・鎮静、区域麻酔における鎮静も適応として挙げている。</p> | | | |
| 問題点と対策 | <p>ミダゾラムと同様の対策を行う。</p> <p>ケタミンは筋注でも使用できるが、作用時間が長くなるため処置時の鎮静には使用しない。</p> <p>悪夢、性的な夢を見ることがある。プロポフォールやミダゾラムなど他の鎮静薬と併用することで副作用を抑制できるため、若年者には他の鎮静薬を併用する。</p> <p>頭蓋内圧を亢進させるため、すでに頭蓋内圧亢進している者には使用しない。</p> <p>医療用麻薬に指定されているため、残りを廃棄せず麻薬注射箋を記入して薬剤部に速やかに返却する。</p> | | | |
| 根拠となる文献 | <p>Practice Guidelines for Moderate Procedural Sedation and Analgesia 2018 American Society of Anesthesiologists 2018</p> <p>MSDマニュアル</p> <p>麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン 第3版4訂 日本麻酔科学会 2019</p> | | | |